

【学校教育目標】
郷土に根ざした
健全な児童の育成
【めざす学校像】
みんなの笑顔があふれる
周布小学校
【めざす子ども像】
学ぶ子
育つ子 進む子



浜田市立周布小学校
浜田市周布町463-3
電話 0855-27-1006
FAX 0855-27-4724

今年もよろしく

お願いいたします

年明け早々に大変なニュースが飛び込んできました。能登半島地震で被災された皆様にお見舞い申しあげるとともに、一日も早い復興をお祈りします。

一月九日に子どもたちと当たり前のように再会できたことをありがたいことだと思いました。「当たり前」がどれだけ素晴らしいことかを実感する令和六年のスタートでした。

始業式では、これらの話に加えて、毎回伝えていることを繰り返しました。

- ◆スリッパ
- ◆ろうか
- ◆スタート時間
- ◆あいさつ

三学期は次の学年の準備の学期(0学期)です。今の学年の学習にしっかり取り組みながら、次の学年に向けての準備を整えてほしいと思います。



二学期最後に

ビッグイベント

〜清水コーチ〜

周布小学校出身で、昨年大きな話題になったWBCの日本代表チームでコーチを務められた清水雅治さんによる「エキスパート授業」が行われました。

対象は二年生。一組と二組をそれぞれ一時間ずつ使ったソフトテニスボールを使ったキャッチボールからスタートです。

近年、「投げる」「打つ」などの運動がうまくできない、やったことがない子どもも増えていると聞きます。柔らかいボールで「痛い、怖い」ということを取り除いて、楽しく活動がスタートしました。



その後のあて、打つこと、目標に投げ入れることなどを同時進行でたくさん活動しました。



清水さんは、「子どもたちの野球人口を増やしたい。でもたくさんさんのスポーツをしっかりと楽しんでほしい。」とおっしゃっていました。

そして、「なんでもいい。習い事をしていいるなら、練習をやめないでほしい。練習を続けていたら、必ず上手になる。」という言葉も二年生のみんなに残されました。次のシーズンオフでの再会をお約束しました。来シーズンは再びコーチとして活躍されます。



【2月の主な行事】

- 8日(木) 読み聞かせ
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 第三中学校入学説明会
- 16日(金) 授業公開日
(学習成果発表会)
学用品譲渡会
新入生物品販売
PTA学級役員会
評議員会
- 21日(水) 委員会活動
- 23日(金) 天皇誕生日
- 28日(水) ふれあい集会

※詳細については学年だより、学級だより等でお知らせします。

学校評議員会

学校の様子や児童の様子を年に数回見ていただき、良いところや改善点について話し合い、意見をいただく「学校評議員会」というものがあります。二学期は十二月十五日に三名ご来校いただき授業の様子を見ていただいた上で、様々な意見交換をさせていただきました。



主な話題としては、あいさつのことと世の中の様々なルールを守ることについてでした。

子どもは大人の鏡であるので、子どもたちにとって身近な大人がいさつする姿をどのように見せているか、ルール（規範意識）について、どのようなとらえで教えているかということでした。

おもちゃ祭り

二年生がおもちゃ祭りを計画し、一年生を招待して一緒に楽しみました。二年生は一年生が楽しめるように工夫をして、わかりやすい説明を考え、楽しい時間を過ごしました。



だれかが喜んでくれることを考えることは、多くの育ちにつながりますね。

しめ飾り作り

十二月十八日、たくさん地域ボランティアの皆さんを講師に迎えて、六年生がしめ飾り作りを行いました。

五年生の時に体験した田んぼでの稲作体験から、稲わらを使ってしめ飾りに出上来るまでの工程を丁寧に説明していただき、飾りにつけるウラジロやユズリハなどもすべて意味があることなどを教えていただきました。ながらそれぞれ立派なものが完成し、持ち帰りました。



最後は年明けの地域でのどんど焼きに持ち込まれたのでしょうか。ボランティアの皆さん大変お世話になりました。

見慣れない風景



ある日の昼休みの写真です。いつもと違うのです。おわかりになりますか？

サッカーなどボール遊びをしている子がいません。訳あってこんな状況になっていたのです。そのわけは周布っ子たちに聞いてみてください。

毎日何組もの試合が展開されていたのに、サッカー好きのみんなはいい感じにどこに行ったのでしょうか。「〇〇でないといけない」わけではないということを実感した日々でした。

楽しい過ごし方は意外とたくさん転がっていたのです。校長室や職員室に誘いに来てくれる子どもたちもいました。

◆現在は終了したが「一度も勝ったことのない弱小チームを元プロ選手が指導」というコンセプトの番組がかなり好きだった。◆毎週高確率で泣かされていたのだ。かつて自分自身が超体育会系熱血教師であったことは理由の一つだが、それだけではない気がしていた。◆年末年始は高校スポーツで何度か泣かされた。バスケット、バレー、サッカー、ラグビー：中でもラグビーには強い思い入れがある。◆子どもたちの一生懸命な姿に心が動かされること。そして、たくさんの「ドラマ」があること。◆周囲のことは関係ない。そこにしかないドラマに心が揺さぶられる。かかわった者だけが身をもって感じるドラマである。◆子どもたちとかかわる学校という場は毎日正にドラマの連続です。感動的なこと、感心すること、笑わせてもらうこと、信じ難い出来事も。なかなか全てを伝えられないが、ネタには事欠かない。◆さて今年はどうなドラマを見させてもらえるだろうか。